

1. ガレキ撤去の仕事の流れ

① **家の解体** (BH フォーク等使用)

家主と立会を行い、作業中探す物等あった場合はその都度作業を止め探してもらう。



② **がれきの撤去** (BH フォーク、バケット等使用)

解体した家や、流れてきたガレキなどを撤去する。

家主と立会を行い、作業中に探す物等あった場合はその都度作業を止めて探してもらう。



③ **がれきを捨て場(仮置場)に運搬** (3t、4t、10t、11t ダンプ等使用)

撤去したガレキを捨て場に運搬する。この時はまだ、木材などのがれき中心に運び捨てる。(今は仮置きだが、今後、1次選別、2次選別と仕分けられる)



④ **建物の基礎の壊し** (BH ブレーカー等使用)

がれき撤去した後や、解体後に残った建物の基礎、コンクリートの建物を壊す。家主や、土地所有者と立会を行い、建物の基礎を壊すかどうか確認し、壊してよいと了承が得られたものに関し基礎を壊す。その際に、隣接者との境界境になっているようなブロック塀や擁壁は残す。壊れているブロック塀は土台部分のみ残して境界がわかるような状態にしておく。



⑤ **コンクリート殻を捨て場に (仮置場) 運搬する** (3 t、4 t 10 t、11 t ダンプ使用)

基礎壊しの際に発生したコンクリート殻を捨て場 (仮置場) に運搬する。この時は、コンクリート殻のみを運搬する。また、基礎に鉄筋等が入っていれば分けられる範囲で鉄筋とコンクリートを分け、コンクリート殻のみ運搬する。捨て場はがれきと同じだが、捨てる山が異なる。(今は仮置きだが、今後、1次選別、2次選別と仕分けられる。)



⑥ **整地及び便槽、浄化槽の撤去** (BH フォーク、バケット等使用)

基礎を壊したあとの土地にある便槽や浄化槽を汲み取り後に撤去する。撤去した後綺麗に整地をする。整地が終わればがれき撤去に伴う作業の終了。



大船渡市がれき等撤去進行状況								
被災面積(ha)	5月10日現在		6月10日現在		7月7日現在		8月11日現在	
	撤去面積 (ha)	撤去率 (%)	撤去面積 (ha)	撤去率 (%)	撤去面積 (ha)	撤去率 (%)	撤去面積 (ha)	撤去率 (%)
765.1	183.4	24	356.0	47	468.5	61	538.5	70

2. がれき撤去に関する感想

- ・ 7月に初めて目にしたときと比べ、着実にがれき撤去が進んでおり、片付いてきている様子がよく分かります。
- ・ 一般住宅のような木造の家は解体しやすいが、工場や大型店舗等鉄骨造りの建物は専門の解体業者に頼まなくてはならないため、解体に時間がかかり、住宅街に比べ市内の街中は解体できない鉄骨がそのまま残っている状態が目立ちます。
- ・ がれきの撤去の際家主に立会いをお願いしているが、連絡先が分からない方も多くいて作業が進まない場合もある為、いかに被災者の方の連絡先を把握するのが重要になっています。
- ・ 家の解体や、がれき撤去する際には、住民の方から様々な要望が出てきます。その際に市で出来る事と出来ない事があり、がれき撤去の作業中にどこまで出来るのか、統一の範例などまとめておくと良いと思います。
- ・ 県道や、県道沿いの側溝などの補修、泥上げなどは市で出来ない部分であり、県との調整が必要になってきています。
- ・ がれき撤去の際に発生するがれきやコンクリート殻などを仮置きする捨て場は、大量のがれき等が運ばれてくる為、複数の広大な敷地が必要だと思いました。
- ・ 住民の方から「ここにはまた、住めますか？」などの、今後についての質問も多くあり、集落ごとの代替地など、今後の復興計画を自治体で早急に計画し、住民説明会などを開催し理解を得ることが大切だと思いました。